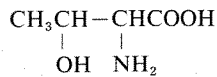


## 76 DL-トレオニン及びL-トレオニン

DL-Threonine and L-Threonine

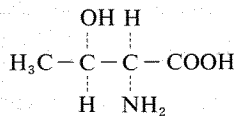
DL-トレオニン

別名：DL-スレオニン

 $\text{C}_4\text{H}_9\text{NO}_3$  : 119.12

L-トレオニン

別名：L-スレオニン

 $\text{C}_4\text{H}_9\text{NO}_3$  : 119.12

## 1. 試験法の概要

食品中のDL-トレオニン及びL-トレオニンは、液体クロマトグラフィーにより定量する。食品中には、天然の遊離のL-トレオニンがわずかであるが分布している。したがって、定量値は食品由来の遊離のL-トレオニンと添加されたものとの合計値である。

## 2. 試験法（液体クロマトグラフィー）

(1) 検体の採取と試料の調製

(2) 試料液の調製

(3) 標準液の調製

(4) 測定法

上記の(1)~(4)については、48 L-アスパラギン酸ナトリウムの試験法を準用する。ただし、「L-アスパラギン酸」は「トレオニン」とし、(3)標準液の調製中の「L-アスパラギン酸ナトリウム 130.1mg」は「L-トレオニン 100mg」とし、(4)測定法、③定量中の計算式は次のとおりとする。

$$\text{DL-トレオニン及びL-トレオニン含量 (g/kg)} = \frac{2 \times S \times A}{W \times A_s}^{10}$$

S : 標準液中のL-トレオニン濃度 ( $\mu\text{g/ml}$ )

W : 試料の採取量 (g)

$A_s$  : 標準液で得られたクロマトグラムのトレオニンピーク面積

A : 測定液で得られたクロマトグラムのトレオニンピーク面積

[注]

48 L-アスパラギン酸ナトリウムの [注] を準用する。